

1 学校教育目標	2 本年度の重点目標
心豊かに！いい顔 いい声 いい心	三日月スタンダードの徹底 ①豊かな心の育成 ②学力向上 ③特別支援教育の充実 ④信頼される学校づくり

重点目標を具体的に評価するための項目や指標を盛り込む

3 目標・評価

①豊かな心の育成

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	●心の教育	・人権・同和教育が充実できたか	・「人権教室」を毎月設定し、命やなかまづくりについて考え、意識を高め、アンケートで、思いやりの項目の肯定的評価が昨年度を上回る。	・全教科、全領域で人権に関わる内容を、実態に応じて具体的な事例を用いて指導する。 ・人権教室、平和集会を学級・学年・全校で実施する。
		・居心地のよい学級づくりができたか	・QUを年2回実施し、学級生活満足群の児童の数がどの学級も70%を超す。 ・気持ちのよい挨拶ができる児童を75%以上にする。	・QUの結果分析を行い、指導に活かしたり、朝のふれあいタイム等で支持的風土作りに取り組む。 ・挨拶運動は、学校だけでなく、育友会とも協力し、家庭や地域へ働きかける。また、運営委員会ともタイアップし朝の挨拶運動を奨励する。
教育活動	●いじめ問題への対応	・いじめのない学級・学校づくりができたか	・いじめをしない・許さない学校づくりの意識を高め、いじめの件数を昨年度より減らす。 ・生徒指導上の諸問題に対する未然防止、早期発見、早期対応に務める。	・教育相談部と連携して、心のアンケートを毎月10日をめぐりに実施し、いじめ早期発見と防止の徹底を図る。

②学力向上

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	●学力の向上	・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業の工夫改善ができたか	・算数授業についてのアンケートで、75%以上の児童が「よくわかる」と評価する。 ・4～6年の学習状況調査で佐賀県平均以上を目指す。1～3年の標準学力検査CRTでは全国平均以上を目指す。	・課題とまとめを意識し、3つのわかる化を取り入れた授業展開を図る。 ・算数科ではしなやかを意識した授業展開を図り、思考を深めるつなげ方を工夫する。また少数担当者が入る授業においては、児童の実態に応じた少人数指導や習熟度別指導に取り組む。
		・家庭学習の習慣が定着できたか	・家庭学習の習慣が身に付いている児童を87%以上にする。	・三日月スタンダードに基づき、全校で共通した家庭学習に取り組む。 ・研修部が中心となり、基本的学習習慣の重点を決め、全校で繰り返し実施していく。 ・家庭学習パンフレットを保護者へ周知する。
教育活動	○教育の質の向上に向けたICT活用教育の実施	・ICT活用を推進することで教育の質が向上したか	・電子黒板・学習用タブレットを活用した授業を行うことで80%以上の児童が「分かりやすい」と評価する。	・電子黒板やタブレットを日常的かつ発展的に活用する。 ・校内研究会を学期に1回以上開催する。
学校運営	○教職員の資質向上	・ユニバーサルデザインに視点を置いた授業づくりをすすめることで授業力は向上したか	・学校評価アンケートでユニバーサルデザインを取り入れた校内での授業研究会や研修会が充実していると自己評価している教員を80%以上にする。	・教師の指導力向上に向けて、全担任が年間1回以上研究授業に取り組む。 ・UDを取り入れた環境づくりに取り組んでいることを意識できるよう研究会等でも紹介していく。

③特別支援教育の充実

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	○特別支援教育	・個別に支援が必要な児童への支援体制を確立できたか	・一人一人の児童理解に努め、積極的に指導・支援に取り組み、個別の指導計画を作成する。 ・全職員あげての支援体制ができていると考える教師が80%以上にする。	・特別支援教育に関する研修会を年間2回以上実施し、どのような特性を持った児童にも対応できる教職員の知識とスキルを高めていく。 ・保護者との連携を密にして、啓発に努める。
		○生徒指導	・教育相談を充実させているか	・教育相談研修会を開催し、児童理解に努め、不登校や問題行動ゼロをめざす。

④信頼される学校づくり

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策	
学校運営	○学校経営方針	・学校教育目標の具体化と重点目標の明確化ができたか	・教育目標及び経営方針、重点取組について教職員へ周知徹底し、認知度を100%にする。 ・児童や保護者に周知し、認知度を80%以上にする。	・保護者や地域へは、学校便りやHP、育友会総会、地域懇談会等の場で説明を行い、周知を図る。 ・児童には全校朝会や学年集会等を利用して分かりやすく話をしていく。	
		○開かれた学校づくり	・学校情報の公開ができたか	・月に1回以上発行予定の学校便りや学年便りをはじめ、各種便りを通して学校情報を発信する。 ・学校HPを随時更新し、情報提供を行う。	・保護者や地域を対象に、教育活動や児童の様子など、学校情報を積極的に発信する。 ・気軽に来校でき、相談しやすい雰囲気の学校づくりに努める。
		○危機管理	・交通事故防止に向けての交通ルール遵守の態度を育てることができたか	・交通ルールを守り、安全に生活しようとする児童の割合を80%以上にする。	・校区内巡回パトロール(週2回)、月1回の交通安全の日の交通立番、年度初め・学期始めの交通立番を職員で実施する。 ・育友会と連携し、ヘルメット着用率100%に取り組む。

本年度の重点目標に含まれない共通評価項目

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	●健康・体づくり	・望ましい生活習慣の形成を推進できたか	・規則正しい生活習慣を身につけて、朝食摂取率を95%を上回る。	・立腰教育、ノーテレビノーゲームデーを推進すると共に、げんきカード、給食日常点検表を活用して指導をし、健康的な生活習慣の意識を高める。
学校運営	●業務改善・教職員の働き方改革の推進	・時間外勤務時間を昨年より削減することができたか	・やりがいを持って仕事に取り組む教職員の割合を80%以上にする。 ・時間外勤務時間が、昨年度平均の45時間38分を下回る。 ・自分の校務分掌を見直し、改善できた教職員の割合を80%以上にする。	・報告・連絡・相談の徹底を図り、学年や全体でそろえるべきところはそろえる。 ・前年度より勤務時間を減らすために、学年で目標を定め、声を掛け合う。 ・回覧版の活用で、会議や連絡会の時間を短縮するとともに、自分の校務分掌の改善を図る。

●は共通評価項目のうち必須項目、◎は共通評価項目のうち特定課題、○は独自評価項目